

# 総額326億1千100万円

新年度予算は、3月5日に開会した市議会定例会に上程、25日に各上程議案が可決され、閉会しました。

## 一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、前年度一般会計当初予算（132億2千400万円）に比べて、5.3%減（6億9千700万円）の125億2千700万円となっております。

前年度に比べて予算額が大きく減少しているのは、平成25年1月27日に市長選挙が執行され、新市長の任期が2月3日からであることから、当初予算を義務的・経常的経費や継続的経費を中心とした「骨格予算」として編成したためです。新規事業や投資的経費などの政策的経費については、限られた財源を重点的・効率的に配分して6月補正予算に計上することとしています。

平成23年度普通会計決算では、平成16年度以降発生していた実質収支赤字が解消され、本市は、ようやく危機的財政状況から脱し、財政健全化への新たな第一歩を踏み出しました。一方で、市民生活の安寧を図るためには、防災・減災対策や公共施設等耐震化対策、新中学校建設など、多額の費用を要する事業の実施が急務となっております。

事業を着実に推進していくためにも、引き続き行財政改革の手綱を緩めず、計画的な予算措置により、長期的にも持続可能な財政運営を行わなければなりません。

### 【産業の振興】

☆中心市街地空き店舗対策事業（緊急雇用創出事業）、地域ブランド産品育成事業、県単独農業振興事業、人・農地問題解決推進事業、徳島東部地域観光振興事業、中小企業振興事業など。

【働きたい人が働ける環境づくり】

☆緊急雇用創出事業、シルバー人材センター運営補助事業など。

【快適に暮らせる生活基盤の整備】

☆ごみ焼却施設運営事業、最終処分場管理運営事業、市営住宅営繕事業、公園管理事業など。

【魅力ある都市基盤の整備】

☆高速道路対策事業、「港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま」事業など。

### 主な普通建設事業は次のとおりです

（百万円未満は四捨五入）

☆都市基盤整備事業 1億1千300万円

☆公営住宅整備事業 300万円

☆庁舎・福祉施設整備事業 100万円

☆文教施設整備事業 1千700万円

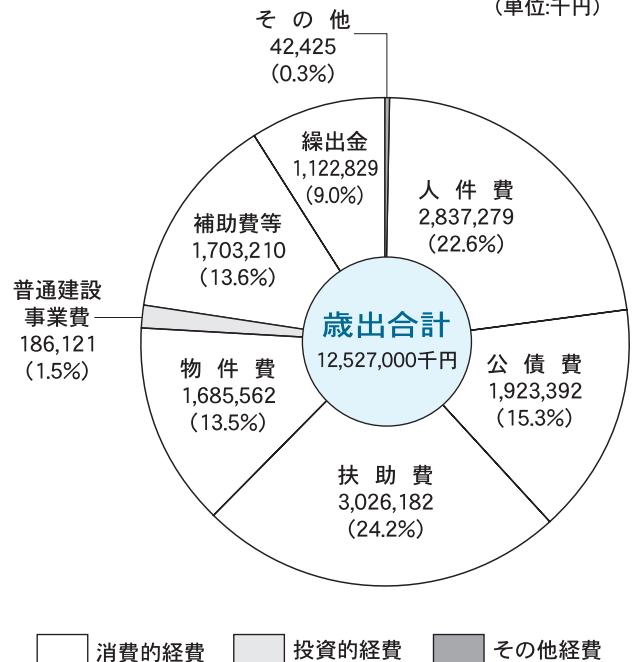
☆農林水産事業 2千400万円

☆道路・河川整備事業 1千700万円

☆環境衛生整備事業 1千200万円

## 一般会計歳出（性質別）の状況

（単位：千円）



## 特別会計予算

### 【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。収支改善計画に基づき、経費節減等の取り組みを推進しています。前年度比2.3%の減となっております。

### 【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比2.0%の減となっております。

### 【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比1.7%の減となっております。

### 【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっております。

### 【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比2.4%の減となっております。

### 【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、生活排水や雨水等をきれいにし、河川や海域等に放流することで、環境美化の推進に役立ちます。金磯南雨水ポンプ場場内整備及び進入路整備などを行い、前年度比78.3%の減となっております。